

親子のコミュニケーションは、昔と今で違っているのでしょうか？
学校と家庭の関係は、どんな風に変化しているのでしょうか？
生徒を取り巻く家庭環境、その家庭を取り巻く社会環境の変化は、
保護者の意識や生徒の気持ちに
いったいどんな影響を及ぼしているのでしょうか？

全国高等学校PTA連合会と小誌が2003年より隔年で調査実施している「高校生と保護者の進路に関する意識調査」。今回の調査からも、生徒と保護者のコミュニケーションの実態、そして家庭と学校の実情が浮き彫りになりました。7割の生徒が自分の将来に不安を抱き、将来働くことに気がかりを感じている。他方、わが子には失敗させたくないという強い気持ちが保護者自身の言動を突き動かします。

子どもたちの自己実現と幸せを願うのは、保護者も学校も同じ。学校と家庭がお互いに向き合うことが、今こそ求められています。では、どう向き合っていけばいいのでしょうか。調査結果の報告とともに、3校の取り組み事例レポート、そして高校とPTAの代表者による特別対談などを通じて、そのヒントを探りたいと思います。

山下真司(本誌 編集長)

保護者と協働するキャリア教育へ 今どきの保護者たちの コミュニケーションの特徴



調査概要

第7回「高校生と保護者の進路に関する意識調査」

一般社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルートマーケティングパートナーズ合同調査

- 調査対象／全国の高校2年生とその保護者
(全国高等学校PTA連合会より依頼した9都道府県の公立高校26校：2年生2クラスの生徒とその保護者)
- 調査期間／2015年9月24日～10月28日
- 調査方法／①高校生 ホームルーム時にアンケート実施 ②保護者 高校生から保護者へアンケートを手渡しで依頼、実施 クラスごと学級担任が高校生・保護者アンケートをまとめ、学校ごとに回収
- 有効回収数／①高校生 1,887名 ②保護者 1,584名 ※全問無回答を除く
- 調査実施／株式会社アンド・ディ

回答者プロフィール

【高校生】

- 性別／男子48.5% 女子48.4% (無回答3.0%)
- 高校タイプ／普通科78.0% 専門学科22.0%
- 地域分布／北海道11.0% 宮城県11.8% 群馬県11.4% 東京都11.3% 三重県11.4% 福井県10.1% 兵庫県12.1% 広島県8.2% 福岡県12.7%

【保護者】

- 性別／父親11.0% 母親85.7% その他0.8% (無回答2.5%)
- 地域分布／北海道8.6% 宮城県12.2% 群馬県13.4% 東京都7.5% 三重県12.4% 福井県10.7% 兵庫県13.6% 広島県9.3% 福岡県12.1%